



令和7年度
特許庁「石川県知財経営支援モデル地域創出事業」支援事例集
2026/3/31

目次

01 知財経営支援モデル地域創出事業の概要 P3

02 石川県の産業構造と知的財産 P6

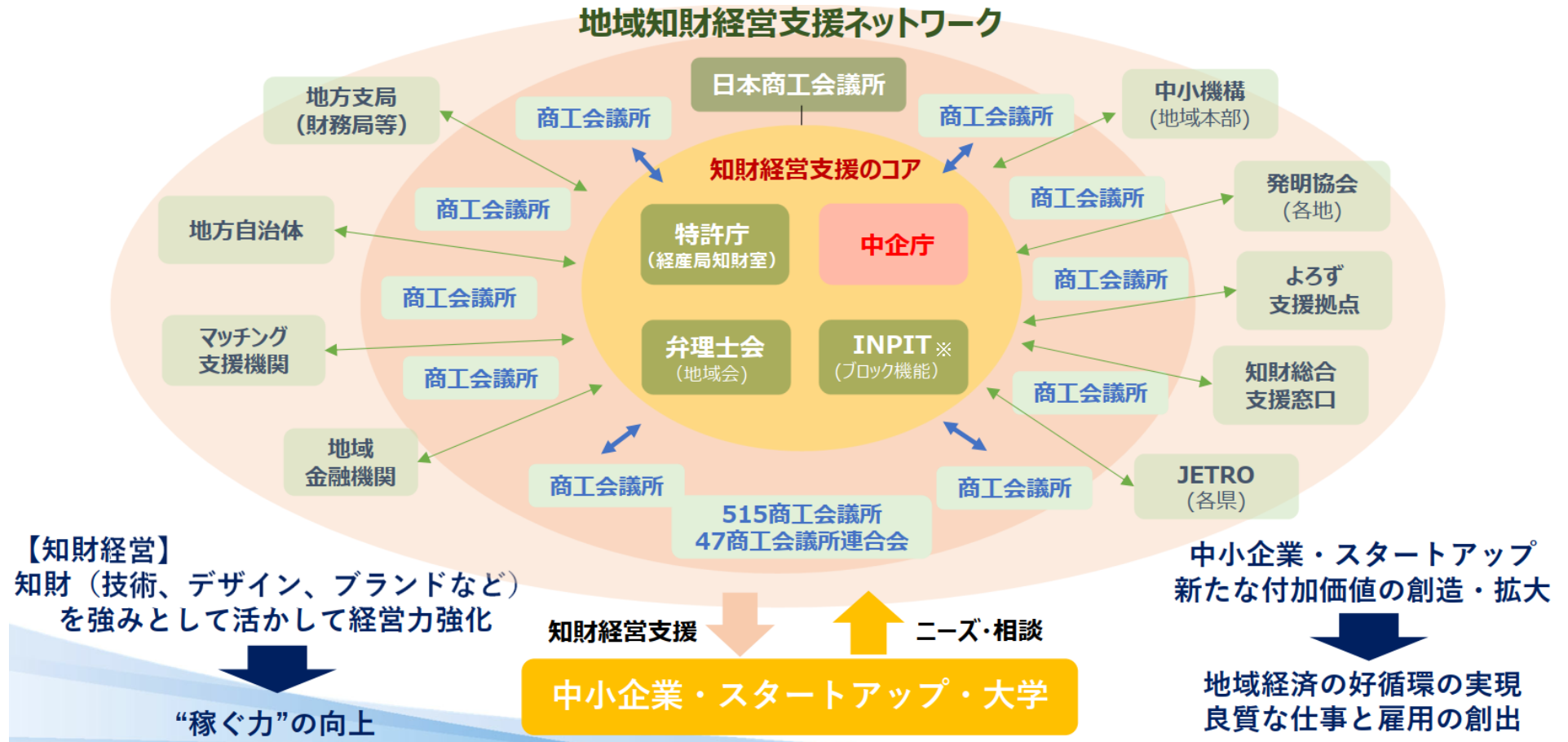
03 伴走支援の実施体制と支援の特徴 P12

04 伴走支援先 7 社の事例紹介 P19

01 知財経営支援モデル地域創出事業の概要

知財経営支援ネットワーク構築の取組

特許庁では、中小企業庁・INPIT・日本弁理士会・日本商工会議所と連携し、中小企業・スタートアップ等への知財経営支援の強化に取り組んでいます

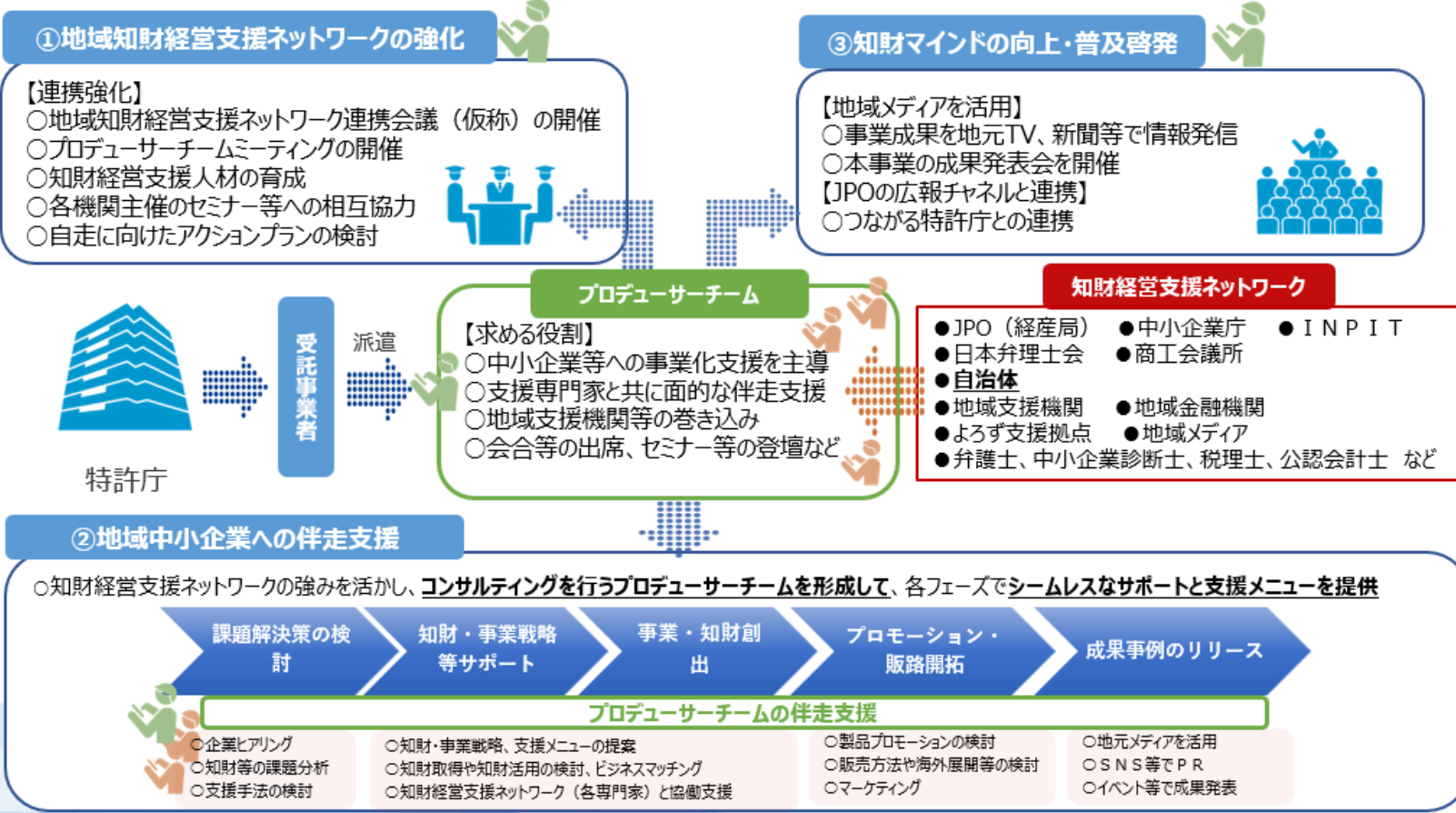


※INPIT：独立行政法人 工業所有権情報・研修館

本事業の取組内容

本事業では、知財を活用した地域の企業成長や地域活性化に意欲的な自治体を指定し、地域内の中小企業等の個社支援や支援機関の連携強化に取り組んでいます。令和6年度、石川県は本事業の実施地域として選定され、最大3年間（最長令和8年度まで）本事業の下で知財経営支援ネットワークの構築に取り組んでいます

- 知財支援重点地域に形成したプロデューサーチームは、
 - ①地域知財経営支援ネットワークの強化、
 - ②地域中小企業等への伴走支援、
 - ③知財マインドの向上・普及啓発
 を行う。



02

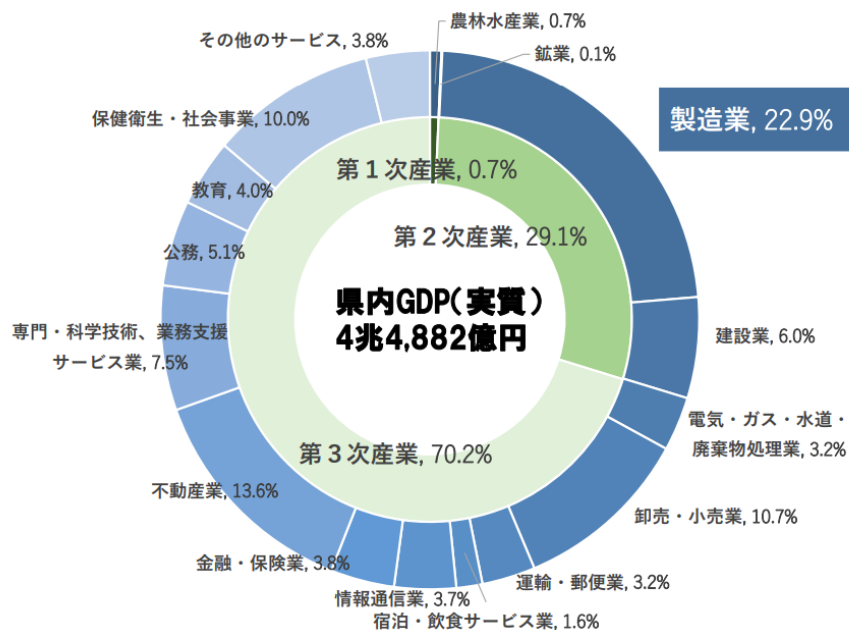
石川県の産業構造と知的財産

石川県の産業構造

石川県は、製造業を中心とした産業構造であり、多様な産業分野が共存する「ものづくり産業」の集積地です

石川県の産業

「製造業」の割合が最も高く、全国と比べると宿泊・飲食サービス業が特化



特化係数(国(1.0)を上回る業種)

・宿泊・飲食サービス業(1.2)

・建設業(1.1)

・製造業(1.1)

・電気・ガス・水道・

廃棄物処理業(1.1)

・保険衛生・社会事業(1.1)

・不動産業(1.1)

・教育(1.1)

参考:製造業(中分類)

・繊維製品(6.0)

・電子部品・デバイス(2.7)

・はん用・生産用・業務用機械(1.7)

・印刷業(1.6)

・金属製品(1.2)

・情報・通信機器(1.1)

出典:内閣府「県民経済計算」、石川県「県民経済計算」

ものづくりの高い技術力

・建設・工作機械産業や繊維産業などにおいて高い技術力を持つ企業群の集積

・特定分野で高いシェアを誇るニッチトップ企業を多数輩出

<高い技術力を持つ企業群>



機械産業



繊維産業

<ニッチトップ企業>



回转寿司コンベア機でシェア日本一

グローバル
ニッチトップ
9社認定!
(全国5位)

出所:石川県産業振興指針(概要)

URL: <https://www.pref.ishikawa.lg.jp/syoko/documents/summary.pdf>

石川県の「産業振興指針」と知的財産との関連性

石川県の産業振興ビジョンにおいて、ニッチトップ企業やスタートアップの創出・育成の推進が掲げられ、その施策として「国と連携した知財専門家支援」「知的財産の戦略的活用の促進」が挙げられています

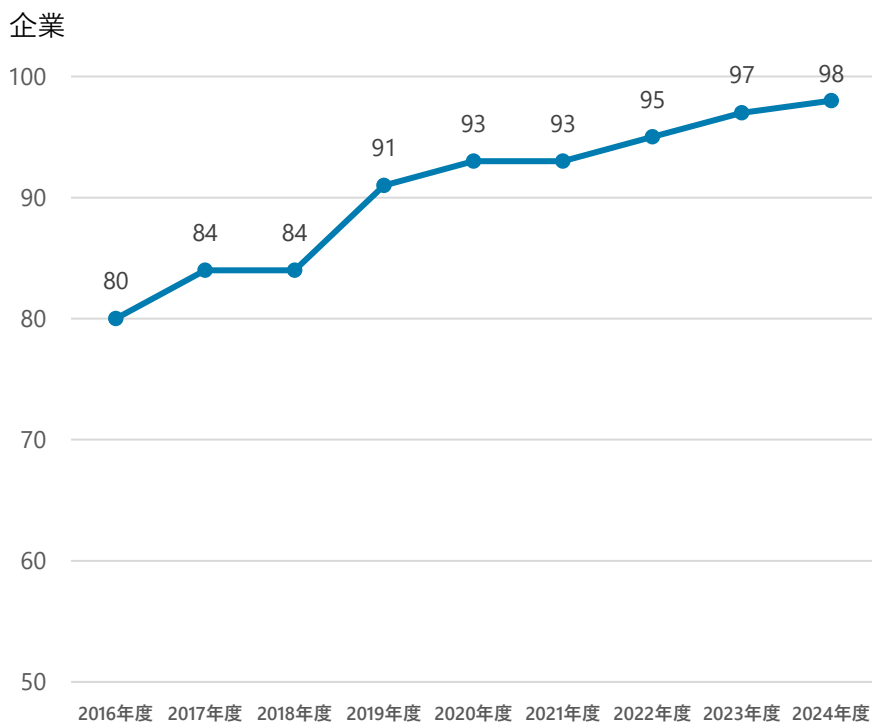
石川県産業振興指針

	成長を牽引する産業のロールモデル	分野別施策
モデル・施策	<ul style="list-style-type: none"> ①グローバル型： 高い技術力により世界と伍するグローバルプレイヤーへと成長 ②サプライチェーン型： 産業集積を活かした「石川型のデジタル製造モデル」の実現 ③地域資源型： 唯一無二の地域資源を活かした魅力の最大化と需要の波及 ④生活インフラ型： デジタル基盤の活用等による社会サービス業の活発化 	<ul style="list-style-type: none"> □施策1：DXの推進 □施策2：GXの推進 □施策3：産業を支える人材の確保・育成 □施策4：新事業・新産業の創出 □施策5：国内外への販路拡大・魅力発信 □施策6：中小企業・小規模事業者等の事業基盤の強化 □施策7：企業等の戦略的誘致
知財との関連性	<p>□「グローバル型」ロールモデルの主な支援策として、「国とも連携した知財等の高度専門家支援」が挙げられている。</p>	<p>□「施策1 産業のDX推進」、「施策4 新事業・新産業の創出」、「施策5 国内外への販路拡大・魅力発信」において、「知的財産の戦略的活用の促進」が挙げられている。</p>

石川県とニッチトップ企業

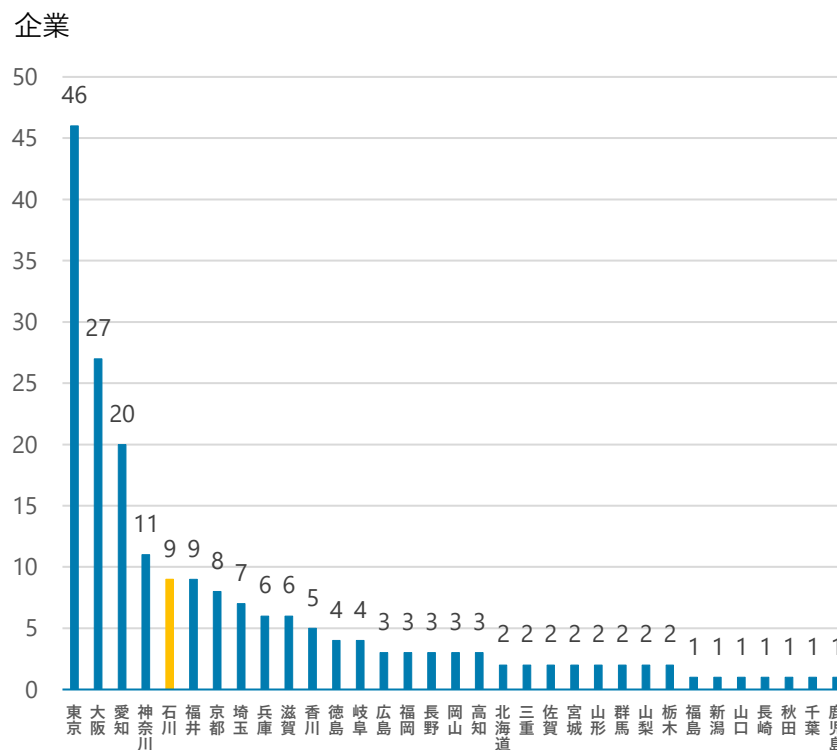
石川県には、優れた技術力や独自の技術・ノウハウ等を活かし国内外の特定分野でシェアトップを誇る「ニッチトップ企業」が数多く集積し、県産業を支える強みとなっています

【石川県 ニッチトップ企業数の推移】



※石川県集計

【全国 グローバルニッチトップ企業数の比較】



(出典) 経済産業省「グローバルニッチトップ企業100選」、
「新グローバルニッチトップ企業100選」の合計

本事業の主たる支援ターゲット

本事業では、企業支援を通じ、石川県内のニッチトップ企業やスタートアップの成長の加速、石川県の目指す絵姿の実現に向けた取組を実施しました

ニッチトップの 成長加速

- 地域の特徴であるニッチトップ企業の中長期的な育成につながる取組の拡大を図る。
- 特定のステージにいる事業者への支援の事例だけでなく、今後の地域知財経営支援ネットワークの構築につなげるための事例を創出する。

スタートアップ の成長・拡大

- 限られた経営資源において、スピード感をもって事業を進めていく必要があり、その中で他社との差別化や参入障壁の構築には知的財産の取得が必須となる。
- また、特に大企業との連携・取引において対等に進めていくに当たっても知的財産がキーとなることから、本事業による支援が重要である。

出所)「令和6年度石川県知財経営支援モデル地域創出事業_事業報告書」に基づき当法人作成

伴走支援先 7 社の紹介

令和 7 年度、本事業ではニッチトップ企業及びスタートアップの計 7 社を対象に、伴走支援チームによる支援を実施しました

#	企業名	継続／新規	所在地	事業概要
1	環境微生物研究所株式会社	継続	野々市市	<ul style="list-style-type: none">災害対応機能を備えた小型メタン発酵システムの開発 (石川県立大学発のスタートアップ企業)
2	フジタ技研株式会社	継続	能美市	<ul style="list-style-type: none">金属加工業板金プレス・鍛造・表面処理・熱処理
3	浅野繊維工業株式会社	新規	かほく市	<ul style="list-style-type: none">ゴム入り細幅織物・経編、ニット事業者向けに伸縮する糸を製造するカバリングゴムの製造業
4	株式会社小松プロセス	新規	能美市	<ul style="list-style-type: none">染料事業反射事業/再帰反射性カラーインクの製造販売
5	株式会社サカモト精機	新規	能美市	<ul style="list-style-type: none">油圧機器部品製造、オフィス機器部品製造、自動車部品製造、医療機器パーツ製造、精密機器部品製造業芝生管理、緑地・スポーツ分野向け部品の設計・製造販売
6	有限会社ジータ	新規	能美市	<ul style="list-style-type: none">受託開発サービス、機械設計サービス、水素関連機器設計製作及び販売
7	北菱電興株式会社	新規	金沢市	<ul style="list-style-type: none">電気・電子機器の販売やエレクトロニクス研究・開発、各種設備工事業いちごファームHakusanを運営し、マイクロ水力発電によるクリーンエネルギーを活用した、イチゴ栽培事業を展開

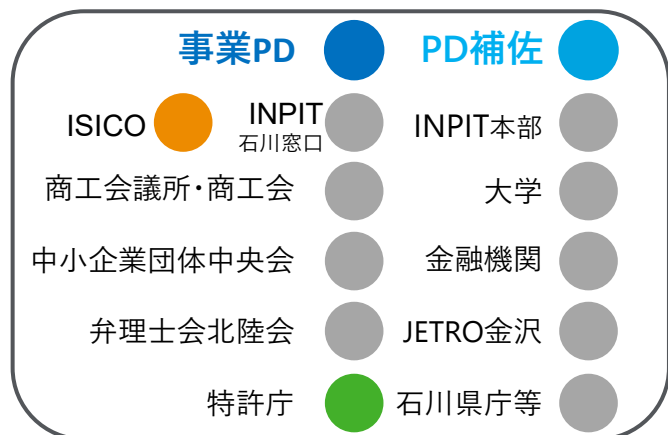
03

伴走支援の実施体制と支援の特徴

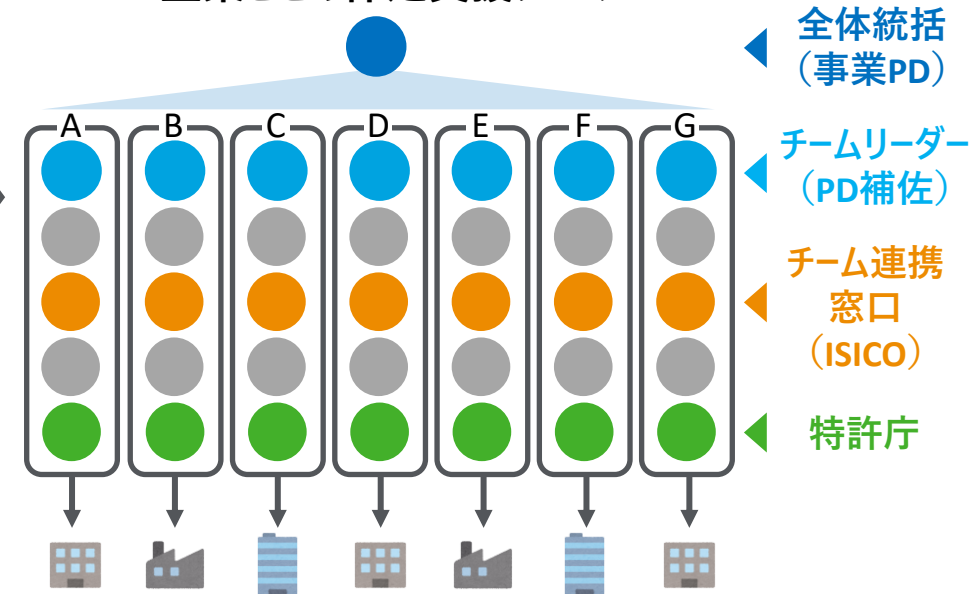
伴走支援の実施体制

事業プロデューサー（事業PD）が全伴走支援を統括、事業プロデューサー補佐（PD補佐）が各伴走支援チームをリードし、各支援機関・各専門家が実作業・助言を担当する体制で伴走支援を実施しました

連携会議



企業ごとの伴走支援チーム



支援対象企業（今年度は7社）への伴走支援を実施

- **事業PD**：全伴走支援を統括し、伴走支援の計画・進捗・今後の支援の方向性に関して助言する
- **PD補佐**：各伴走支援チームのリーダーとして、伴走支援の計画の策定や、伴走支援の実施を主導する
- **支援機関・専門家**：伴走支援の計画を踏まえ、自らの専門性に応じ、必要な調査分析、情報提供、助言等を実施
- **特許庁**：事業全体を管理するとともに、伴走支援の状況を把握し、知財関連の助言、支援施策紹介等を行う
- **ISICO**：経営支援機関として伴走支援チームに参画すると共に、支援企業の継続的なフォローアップを行い「チーム連携窓口」としてPD補佐をサポートする。フォローアップを通じて支援方針変更の必要性を感じた際には、PD補佐に連絡し、支援計画の修正検討を依頼する

事業プロデューサーの紹介（全伴走支援の統括）



氏名：下田 俊明
所属：株式会社IABeacon
役職：代表取締役社長
弁理士

■ 所属団体

- ✓ 日本弁理士会
- ✓ アジア弁理士協会（APAA）
- ✓ SIV アライアンス

■ 専門とする分野

- ✓ バイオ、医薬、医療機器、食品、化粧品、化学、高分子、材料、金属、半導体などの技術分野における、国内外権利化業務
- ✓ 中小企業に対する知財コンサルティング業務
- ✓ 知財価値評価や知財分析業務
- ✓ スタートアップ支援業務

■ 略歴

- ✓ 名古屋大学工学部生物機能工学科卒業後、文部科学省に就職、2006年に弁理士試験に合格
- ✓ 2007年に秀和特許事務所入所し、主に化学系・ライフサイエンス系の案件について幅広く出願・権利化業務を行うとともに、スタートアップ・中小企業に対しては、総合的な知財コンサルティングを実施
- ✓ 日本弁理士会の知的財産経営センター（旧知財価値評価推進センター）にて知的財産の評価に10年以上関与
- ✓ 知財戦略立案に、マーケティングスキルや分析スキルをミックスすることで、事業価値の最大化を図る
- ✓ 特許事務所に所属しながらスタートアップに特化した支援会社（株式会社IA Beacon）を立ち上げ、長く伴走者としてスタートアップをサポート可能

事業プロデューサー補佐の紹介（各伴走支援チームのチームリーダー）



氏名：長田 英希
所属：ながた中小企業診断士事務所
役職：代表
中小企業診断士

略歴
都内の情報サービス会社・コンサルティング会社・
監査法人にて、ITシステム構築・コンサルティング
業務等に従事後、2011年から地元石川県にて
中小企業診断士として独立。公的機関の専門
家・アドバイザーとしても中小企業支援の豊富な
経験・実績を有する。



氏名：西井 克己
所属：株式会社迅技術経営
役職：代表取締役
中小企業診断士

略歴
中小企業診断士として約700社の支援実績。
主に事業計画書策定を行う。また、製造業を得意とし、原価管理や品質管理には多くの実績を保有する。



氏名：宮田 誠心
所属：宮田特許事務所
役職：所長
弁理士

略歴
弁理士として、中小企業の新製品開発支援、
弁理士会の知財経営支援、INPITの加速的支援に携わる。知財の権利化及び活用の経験に基づいて、市場で優位性を確立するための知財戦略の構築を得意とする。



氏名：村田 健誠
所属：村田健誠特許事務所
役職：所長
弁理士

略歴
2007年から都内の特許事務所で弁理士として勤務し、
特許関連業務を担当する。2019年に村田健誠特許事務所を設立。近年は、公的機関の専門家アドバイザーとしても活動している。



氏名：横井 敏弘
所属：みさき国際特許事務所
役職：所長
弁理士

略歴
知財×経営の観点で20年以上の支援実績。経営上の狙いを明確にした特許出願・商標登録を信条とし、事業を前進させるための知財活動を提案してきた。大学での講義をはじめ、北陸地域での知財制度の普及活動にも積極的に取り組む。

本事業に参画していただいた支援機関の紹介

石川県内の様々な支援機関にプロジェクトに参画いただき、支援体制を構築しました

支援機関名称	
石川県工業試験場	石川県よろず支援拠点
(独)工業所有権情報・研修館(INPIT)	(公財)いしかわ農業総合支援機構(INATO)
INPIT石川県知財総合支援窓口	金沢大学
(独)日本貿易振興機構(JETRO) 金沢貿易情報センター	北陸先端科学技術大学院大学
(独)中小企業基盤整備機構 北陸本部	石川県立大学
日本弁理士会北陸会	金沢工業大学
石川県商工会議所連合会	(株)北國銀行
石川県商工会連合会	金沢信用金庫
石川県中小企業団体中央会	石川県信用保証協会
(公財)石川県産業創出支援機構(ISICO)	

伴走支援の特徴①

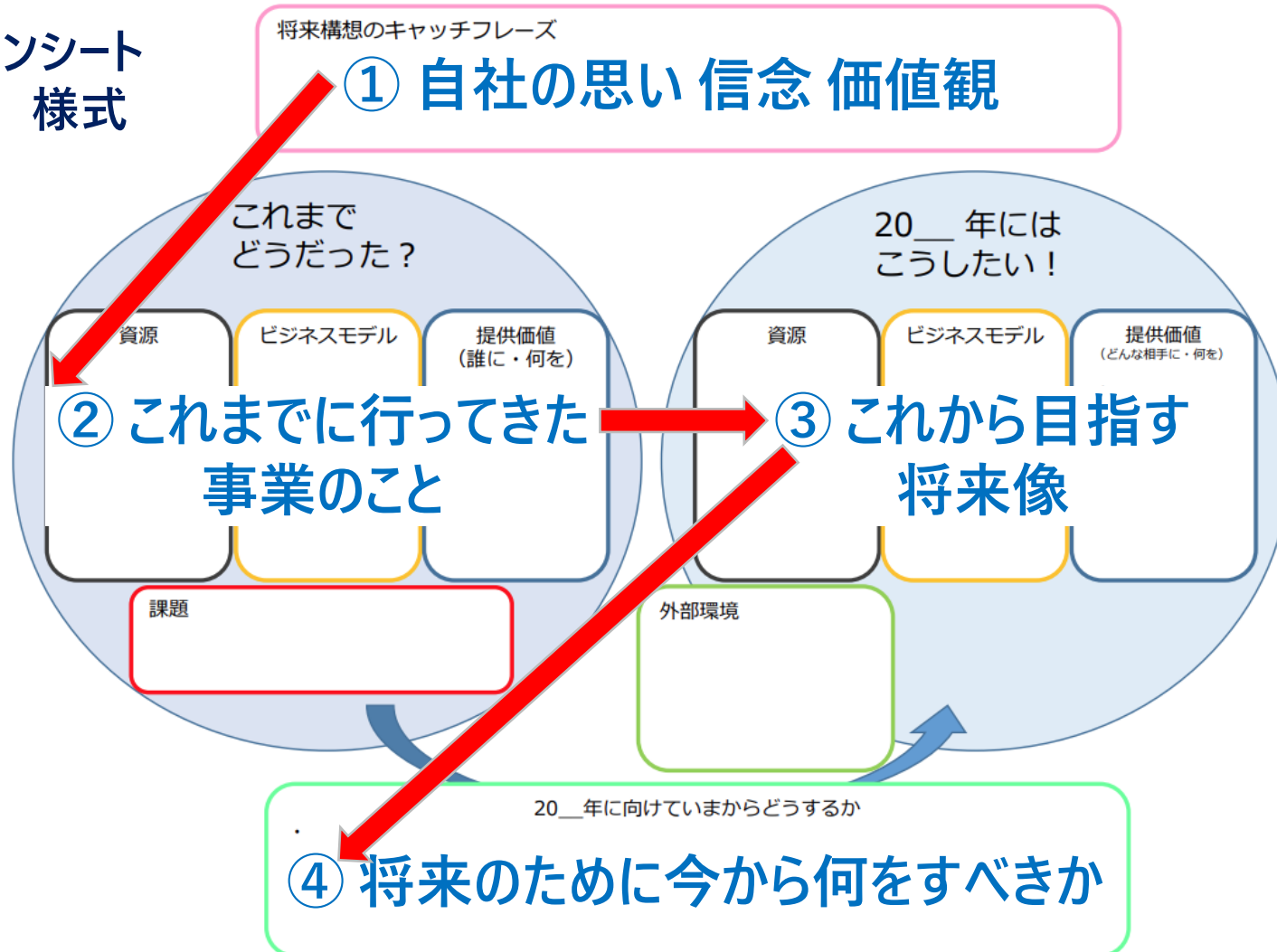
伴走支援の特徴として、知財と経営の両観点から、「弁理士」「中小企業診断士」の人材を起用しながら支援を実施しました

分類	特徴	内容
知財の視点	弁理士の起用	<ul style="list-style-type: none">知財の保護・活用の観点から事業を俯瞰・分析し、専門的な助言を提供できる、弁理士人材を起用簡易的な特許情報分析により、対象事業の市場構造・競合状況・技術ポジションを客観的に整理・分析
経営の視点	経営デザインシートの活用	<ul style="list-style-type: none">経営デザインシートの作成を通じて、事業の現状・構想及び今後必要な施策を整理・言語化経営デザインシートを活用し支援計画を適宜調整することで、支援課題を正確に把握し、支援課題と整合の取れた支援を提供
	中小企業診断士の起用	<ul style="list-style-type: none">経営デザインシートの作成支援を担当事業性の観点から、企業課題を深掘りし、必要な施策を提案・助言する役割を担う

伴走支援の特徴②

企業の事業構想・課題・対応策（知財活用を含む）の整理や言語化のために、経営デザインシート（経営をデザインするための思考・コミュニケーションの補助ツール）を活用しながら支援を実施しました

経営デザインシート （簡易版）様式



04

伴走支援先 7 社の事例紹介

伴走支援先 7 社への支援内容

令和 7 年度、本事業ではニッチトップ企業及びスタートアップの 7 社に対し、以下の支援を実施しました

#	企業名	所在地	支援内容
1	環境微生物研究所株式会社	野々市市	<ul style="list-style-type: none">事業構想の明確化／経営人材の確保に向けた、経営デザインシートを活用した事業構想の整理・言語化
2	フジタ技研株式会社	能美市	<ul style="list-style-type: none">新規展開領域の発掘に向けた、既存知的資産の評価／営業活動の展開
3	浅野繊維工業株式会社	かほく市	<ul style="list-style-type: none">オープン＆クローズ戦略の策定に向けた、経営デザインシートを活用した事業内容・構想の整理・言語化
4	株式会社小松プロセス	能美市	<ul style="list-style-type: none">オープン＆クローズ戦略の策定に向けた、経営デザインシートを活用した事業内容・構想の整理・言語化
5	株式会社サカモト精機	能美市	<ul style="list-style-type: none">事業計画の策定に向けた、経営デザインシートを活用した事業内容・構想の整理・言語化
6	有限会社ジータ	能美市	<ul style="list-style-type: none">事業戦略・特許出願戦略の策定に向けた、経営デザインシートを活用した事業内容・構想の整理・言語化
7	北菱電興株式会社	金沢市	<ul style="list-style-type: none">イチゴ事業のブランド戦略策定に向けた、経営デザインシートを活用した事業内容の理解・知的財産の整理、及びブランディング施策の提案・助言

①環境微生物研究所株式会社 企業情報・製品紹介（エコスタンドアロン）

企業情報

住所：石川県野々市市末松1-308石川県立大学内

代表者：馬場 保徳

従業員数：0人

資本金：1,800万円

事業概要：牛の胃のルーメン液を用いた高効率メタン発酵システムの開発、製造、販売

●製品紹介（エコスタンドアロン）

エコスタンドアロンは、雑草や野菜くずをバイオガス（メタンガス）へ変換し、電力を生み出す独自の発電システム。地域のエネルギーが、エコに自立（スタンドアロン）できる、そんな願いを込めて名付けました。再生可能エネルギーを活用した災害対策の実現を目指し、企業や自治体とともに持続可能な未来を創造します。



本事業で
製品設計
を支援

牛を模した
機能・デザイン



雑草や野菜くずを微生物で溶かしガスと電気と液体肥料を生産



①環境微生物研究所株式会社

支援内容（経営デザインシート作成支援、経営戦略・知財戦略に関する助言）

【支援の概要】

企業の支援課題・ニーズ

- ❑ 会社が将来どのような姿を目指すのかを、はっきりさせたい。
- ❑ 将来の目標から逆算して、今何をすべきかを具体的な行動計画として決めたい。
- ❑ 南海トラフ地震の被災想定地域等に、小型メタン発酵システム「エコスタンドアロン」を設置していきたい。

令和7年度 支援概要

- ❑ 経営デザインシートを作成するための支援を実施。
- ❑ 会社の経営の進め方や、特許など知的財産の活用について助言。
- ❑ 特許出願書の案について、別の専門的視点から内容を解説・助言。
- ❑ 小型メタン発酵システム「エコスタンドアロン」を販売していくための、効果的な広報やPRの方法を検討。

【令和7年度の支援効果／今後の支援計画】

支援を受ける前

- ❑ 南海トラフ地震の被災想定地域への導入に向けた行動計画を詳細に策定したい。
- ❑ 小型メタン発酵システム「エコスタンドアロン」をスーパーマーケット等に導入することによるメリットを、スーパーマーケットにおける野菜くず等の廃棄物処理コストの削減の効果以外にも見出したい。

令和7年度 伴走支援成果

- ❑ 経営デザインシートを作成したことで、会社が将来目指したい姿が明確になり、言語化ができた。
- ❑ 特許出願書案について、セカンドオピニオンとしてポイントや留意事項を解説したことで、疑問点がクリアになり、方針が明確になった。
- ❑ スーパーマーケットへのPR施策として、牛を模した仕様の提案と、試作検討に協力してくれる製造企業の紹介を受けた。
 - 提案（牛を模したデザイン等）の狙いは以下2点
 - ①スーパーマーケットの来客者にも親しんでもらう
 - ②スーパーマーケットへの集客効果を可視化する

今後想定される支援内容

- ❑ 小型メタン発酵システム「エコスタンドアロン」を、災害時の電源として設置していくに当たり、販売や保守の体制づくり、技術の認知向上に関する助言を実施。
- ❑ 自社ならではの技術の特許などの知的財産として守るための方針を検討。

①環境微生物研究所株式会社 支援関係者（支援企業・事業PD補佐・支援チーム）の声

企業の声（感想・得られた成果等）

環境微生物研究所株式会社 代表取締役 馬場 保徳 氏

今年度の支援を通じて、経営デザインシートの作成、今後2年間のやるべきこと、また弊社製品を全国展開するため必要な製品開発への助言を頂戴し、大変今後の事業に資する成果を得ることができました。

事業PD補佐の声（感想・得られた成果等）

事業PD補佐・弁理士 宮田 誠心 氏

支援の中で、特許出願のセカンドオピニオンに加えて、特許による新たな保護対象を検討できたことで、経営デザインシートの将来の在りたい姿に向かって進んでいけると感じております。

支援チームの声（感想・得られた成果等）

弁護士法人クラフト 松田法律特許事務所

弁護士・中小企業診断士 村谷 淳 氏

経営デザインシートの作成を通じて、将来在りたい姿を明確化し、経営及び知財の観点からこれから取り組むべき課題を洗い出し、整理することができました。

石川県産業創出支援機構（ISICO）川畑 泰樹 氏

思いもよらないアイデアが出てすぐに試作品が完成したという経験から、多様なメンバーによる支援の効果を実感しました。

また、馬場代表の納得感が高まった様子を見て、特許に係るセカンドオピニオンの重要性を実感した次第です。

INPIT石川県知財総合支援窓口 山岡 佳代 氏

スタートアップの経営者は悩みを一人で抱えがちですが、支援チームが壁打ち相手となって話を聞き、考えを整理することで、次の一步を引き出すことができると感じました。



①環境微生物研究所株式会社

令和7年度 伴走支援体制

構成メンバー	伴走支援での役割
【統括】 事業PD・弁理士 下田 俊明 氏	<ul style="list-style-type: none"> 知財や企業支援に係る知見を踏まえ、支援計画の妥当性の確認、支援計画に対する助言、伴走支援に対する助言等を行い、支援チームの全体統括を担う。
【チームリーダー】 事業PD補佐・弁理士 宮田 誠心 氏	<ul style="list-style-type: none"> 課題に応じた支援機関の巻き込みを行い、支援チームのリーダーとして意思決定に関する助言を行う。 支援全体の進行管理、環境微生物研究所が抱えている支援課題や支援ニーズを取り纏め適切な支援計画を検討。 支援の進捗に沿って支援課題の整理や見直しを行う。 必要に応じて専門家派遣の依頼をする。
【チーム連携窓口、支援機関】 石川県産業創出支援機構（ISICO） 成長プロジェクト推進部 部長 川畑 泰樹 氏 部長代理 中野 学 氏	【チーム連携窓口】 <ul style="list-style-type: none"> 支援企業と支援機関の連絡窓口として、調整役を担う。 事業PD補佐、支援機関や事務局と連携し事業終了後に引き継げる体制を構築する。 【支援機関】 <ul style="list-style-type: none"> 企業の抱える課題に対し、専門性をいかし、また、これまでの支援実績を踏まえ、適宜助言を行う。
【支援機関】 INPIT石川県知財総合支援窓口 支援担当者 山岡 佳代 氏	<ul style="list-style-type: none"> INPITの支援サービスやネットワークを活用し、知財戦略策定、ブランディング、知財契約・法務等の具体的な知財支援を中小企業に提供する役割を担う。
【専門家】 弁護士法人クラフト 松田法律特許事務所 弁護士・中小企業診断士 村谷 淳 氏	<ul style="list-style-type: none"> 環境微生物研究所の経営デザインシート作成に向けた、事業の課題ヒアリング、助言を行い、作成のサポートを行う。

②フジタ技研株式会社 企業情報・技術紹介（CVDコーティング）

企業情報

住所：石川県能美市粟生町西702番

代表者：坂東 達也

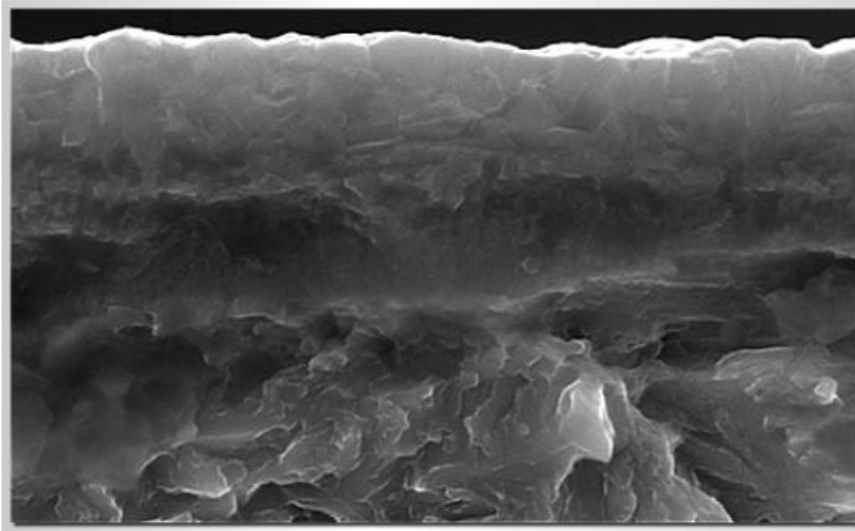
従業員数：200名

資本金：6,000万円

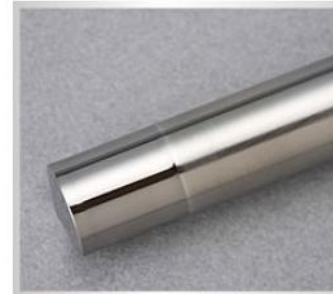
事業概要：冷間鍛造金型の一貫生産、精密プレス金型加工、真空熱処理及びソルト熱処理、
CVD・PVD表面処理、EDM・WEDM加工 他

●技術紹介（CVDコーティング）

基材表面に数ミクロンのチタン膜をコーティングし、耐摩擦性能を向上させるCVDコーティング。
製品の品質と精度に大きく影響を及ぼす製膜技術が要求される、極めて重要な工程です。当社では、長年にわたる試行錯誤と経験の蓄積により、絶妙の製膜コントロール技術により、他社にマネのできない精度を実現しています。



電子顕微鏡による膜断面



膜種	CVD-FTC(TiC)
表面色	銀色
膜硬さ	Hv 3,800
膜厚	2~4μm
耐熱温度	300°C
特徴	膜が非常に硬く、滑り性も良いので、冷間鍛造、板金プレス加工等、幅広く使用される。



膜種	CVD-FTW(TiC+TiN)
表面色	金色
膜硬さ	Hv 2,400
膜厚	2~4μm
耐熱温度	500°C
特徴	TiC+TiNの2層膜で、膜韧性は高く、耐熱性がFTCより高いため、高温になる金型に向いている。一般的にステンレスのプレス加工に適している。

②フジタ技研株式会社

支援内容（既存技術の新分野への展開、営業支援）

【支援の概要】

企業の支援課題・ニーズ

- ❑ 自動車業界で培った技術を活用し、他分野に展開したい。
- ❑ 会社・技術情報を社外にアピールし、ブランドイメージを向上させたい。

令和7年度 支援概要

- ❑ コーティング技術を売り込むための、営業やブランドづくりに関する助言
- ❑ 保有している技術（知財）の強みの活用に関する助言
- ❑ 加工から仕上げまで一貫して行える体制を、改めて強みとして整理し、その活用方法を助言

【令和7年度の支援効果／今後の支援計画】

支援を受ける前

- ❑ 販売戦略やブランドづくりを体系的に行えていなかった。
- ❑ 今ある技術が、自動車以外の分野でどのように使えるのか見えていなかった。

令和7年度 伴走支援成果

- ❑ ホームページの見直しやSNS活用など、具体的なPR施策を提案してもらい、実行につながった。
- ❑ 他社の特許と比べることで、自社の特徴や強みを再確認できた。また、自社の技術が役立つような新しい分野を整理することができた。

今後想定される支援内容

- ❑ 既存事業の強みの活用を進めるため、自社技術情報の公知/非公知の分類、自社技術に関する情報発信の検討
- ❑ 特許情報を活用し、新規展開分野・新規営業先（医療分野、超音波モーター、他）を選定、マーケティングを支援

②フジタ技研株式会社

支援関係者（支援企業・事業PD補佐・支援チーム）の声

企業の声（感想・得られた成果等）

フジタ技研株式会社 執行役員 研究開発部部長 南条 吉保 氏

前年度の課題であった「自社の強みの客観視」を克服するため、今年度は専門機関による分析と特許情報を活用しました。その結果、表面処理技術の多業種展開の可能性が明確になり、ターゲットとする業種・製品の絞り込みまで進めることができました。期待以上の成果を得られたと感じており、来年度も継続的な支援をお願いしたい所存です。

事業PD補佐の声（感想・得られた成果等）

事業PD補佐・弁理士 横井 敏弘 氏

今年度は、特許情報の分析を行うことにより、自社の強みを相対的に評価できたのではないのでしょうか。また、競合他社の特許情報から、共同開発の動向や新規分野開拓の動きなどを知ることができたと思います。これらの情報を参考にして、マーケティング活動や営業活動をこつこつと続けていかれることを期待しております。

支援チームの声（感想・得られた成果等）

石川県産業創出支援機構（ISICO）池田 亨 氏

フジタ技研様の強みである金属加工、研磨加工、熱処理を活かした次年度の営業活動に向けた準備が整ったかと存じます。Management & Technology Consultant 森下様の人的ネットワーク等を最大限に活かしていただき、営業力強化を図って収益の向上をされることを期待しております。また長年培われた技術力を幅広く訴求し、顧客の課題解決を通じて企業価値を更に向上されることも期待しております。

INPIT石川県知財総合支援窓口 橋爪 慎哉 氏

日頃からINPIT知財総合支援窓口として、知財による課題解決を支援しています。本事業ではチーム体制を最大限に活かし、個人の枠を超えた多角的な視点から多彩な支援手法を提案できました。特に、難解になりがちな特許情報の分析やオープン&クローズ戦略を可視化した資料は、相談者様からも高い評価を頂いた手応えがあります。今後も知財の心理的ハードルを下げ、ビジネスの確かな武器として活用いただけるよう、誠実な支援に努めてまいります。

新規事業として進むべき道を知財情報から検討する



②フジタ技研株式会社 令和7年度 伴走支援体制

構成メンバー	伴走支援での役割
【統括】 事業PD・弁理士 下田 俊明 氏	<ul style="list-style-type: none"> 知財や企業支援に係る知見を踏まえ、支援計画の妥当性の確認、支援計画に対する助言、伴走支援に対する助言等を行い、支援チームの全体統括を担う。
【チームリーダー】 事業PD補佐・弁理士 横井 敏弘 氏	<ul style="list-style-type: none"> 課題に応じた支援機関の巻き込みを行い、支援チームのリーダーとして意思決定に関する助言を行う。 支援全体の進行管理、支援課題や支援ニーズを取り纏め適切な支援計画を検討。 支援の進捗に沿って支援課題の整理や見直しを行う。 必要に応じて専門家派遣の依頼をする。
【チーム連携窓口、支援機関】 石川県産業創出支援機構（ISICO） コンサルティング事業部 経営支援課 課長代理 池田 亨 氏 主査 清水 祐太郎 氏	【チーム連携窓口】 <ul style="list-style-type: none"> 支援企業と支援機関の連絡窓口として、調整役を担う。 事業PD補佐、支援機関や事務局と連携し事業終了後に引き継げる体制を構築する。 【支援機関】 <ul style="list-style-type: none"> 企業の抱える課題に対し、専門性をいかし、また、これまでの支援実績を踏まえ、適宜助言を行う。
【支援機関】 石川県工業試験場 機械金属部 主任研究員 鷹合 滋樹 氏	<ul style="list-style-type: none"> フジタ技研の抱える課題に対し既存の試験設備・ネットワーク・支援メニューを活用し、県内製造業企業向け公設試験研究機関として、設計・試作・評価・測定など技術面での支援を提供する。
【支援機関】 INPIT石川県知財総合支援窓口 支援担当者 橋爪 慎哉 氏	<ul style="list-style-type: none"> INPITの支援サービスやネットワークを活用し、知財戦略策定、ブランディング、知財契約・法務等の具体的な知財支援を中小企業に提供する役割を担う。
【専門家】 Management & Technology Consultant 代表 森下 康伸 氏	<ul style="list-style-type: none"> 大手電子部品メーカー出身者として有する技術面の専門性を活かし、調査やデータ分析を行い、企業との共同開発や特許活用などについて助言する。

③ 浅野纖維工業株式会社

企業情報・製品紹介（カバーリングゴム）

企業情報

住所：石川県かほく市高松サ-49-3

代表者：浅野 貴裕

従業員数：非公開

資本金：1,000万円

事業概要：細幅ゴム入り織物製造業者向けカバーリングゴムの製造業

● 製品紹介（カバーリングゴム）

太さ、色、素材が異なる糸などを複合して、カバーリング糸を製造しています。弊社が手掛ける弾力性に優れ、強い伸縮性と戻り力を保つ複合加工糸は、創意と工夫に満ちた研究によって生み出されました。

現在、カバーリング糸の用途は、アパレル（インナー、アウター）、メディカル、車両、産業資材ほか多岐にわたっています。

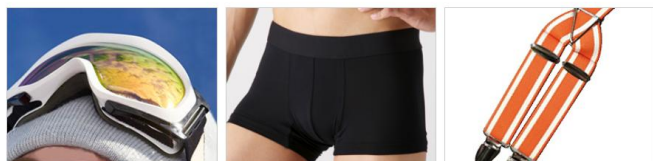


細幅ゴム入り織物の使用例



縦糸がカバーリング加工糸

← 伸縮する →



ゴーグル

インナーのゴム部分

サスペンダー



アパレル

インナーウェア、アウター向けのゴム入り織物、編物原料加工織物、ニット向け原料加工



医療

腰痛ベルト、サポーター原料加工



スポーツ

リップ、ウエスト、パイピング用途ゴム入り織物、編物原料加工



車両・産業資材

カーシート、トランク内で使用するゴムの原料加工、各種結束用途の原料加工



その他

包装資材向けゴム

③ 浅野纖維工業株式会社

支援内容（経営デザインシート作成支援、契約書作成支援）

【支援の概要】

企業の支援課題・ニーズ

- 大阪産技研との共同研究開発契約書作成に関する支援
- 糸（銅コーティング）の研究開発に関する今後の事業方針に関する検討

令和7年度 支援概要

- 経営デザインシートを作成するための支援を実施
- 大阪産技研との共同研究に関する契約書づくりを支援
- 自社で使える共同研究契約書や秘密保持契約書の作成を支援
- 公開すべき情報と、社内ですべき情報の、棚卸し・整理を支援

【令和7年度の支援効果／今後の支援計画】

支援を受ける前

- 自社の共同研究開発契約書や、他社との間の秘密保持契約書を保有していなかった。

令和7年度 伴走支援成果

- 経営デザインシートを活用したことで、浅野社長の考えや課題・今後の構想を言語化できた。専門家を交え意見交換をしていく中で、客観的に事業内容を整理することができた。
- 専門家（弁護士）を交え、浅野社長の考えを盛り込みながら、浅野纖維工業の共同研究開発契約書、秘密保持契約書を作成することができた。

今後想定される支援内容

- 特許情報分析を踏まえ、新たな顧客ターゲットの洗い出しや、オープン＆クローズ戦略策定支援を実施する。
- 機密情報管理に係る社内体制の整備を実施する（内規整備等）。

③浅野繊維工業株式会社

支援関係者（支援企業・事業PD補佐・支援チーム）の声

企業の声（感想・得られた成果等）

浅野繊維工業株式会社 代表取締役 浅野 貴裕 氏

弊社は、小規模であるがゆえに開発型の企業として常に新しいトライを行ってきたにも関わらず、これまで契約関連や知財戦略に関しては後手に回っていました。この素晴らしい機会を頂けたことで他研究機関や企業との共同研究に弾みがつきました。

事業PD補佐の声（感想・得られた成果等）

事業PD補佐・中小企業診断士 西井 克己 氏

共同研究契約書の支援においては、弁護士の村谷先生が、ビジネス全体を把握いただいた上で、的確な指導をされていました。また、経営デザインシート作成を通じて、浅野社長の思いをカタチにすることができました。今後は、共同研究の成果に応じたオープン＆クローズ戦略を立案、実行していくことが課題と考えます。

支援チームの声（感想・得られた成果等）

弁護士法人クラフト 松田法律特許事務所
弁護士・中小企業診断士 村谷 淳 氏

今回の伴走支援を通じ、同社の経営戦略及び知財戦略をベースにした共同研究契約書のひな型を整備することができ、共同研究契約書のひな型をベースに交渉を進め、具体的な修正を施していく過程を通じて、同社にとって適切な共同研究の推進に寄与できたものと存じます。

石川県産業創出支援機構（ISICO）川畑 泰樹 氏

浅野繊維工業様は小規模ながら、機動力と技術力を強みとした研究開発を通じ、高付加価値な製品開発に注力しました。契約実務や知財戦略に課題を抱えていましたが、今回の伴走支援により、具体的な契約交渉のサポートに加え、契約書のひな形整備といった実務体制を強化することができました。今後も継続的な支援により、事業の更なる成功につながることを期待しています。

石川県産業創出支援機構（ISICO）安井 治之 氏

浅野繊維工業様は、以前、研究開発の連携に失敗した経験があり、共同研究契約の大切さを身に染みており、今回の伴走支援を活用して不得手であった契約書についてクリアになった点は大きな成果です。今後はアラミド繊維に銅めっきを施した新規製品の開発に全力で取り組んで知財化していただければと存じます。

INPIT石川県知財総合支援窓口 山岡 佳代 氏

契約書支援では、法務知識はもちろん、研究や事業の一步先を見据えてリスクを抽出する力が重要だと実感しました。今回、様々な専門性を持つ支援チームで御支援できた点が良かったです。



③浅野繊維工業株式会社 令和7年度 伴走支援体制

構成メンバー	伴走支援での役割
【統括】 事業PD・弁理士 下田 俊明 氏	<ul style="list-style-type: none"> 知財や企業支援に係る知見を踏まえ、支援計画の妥当性の確認、支援計画に対する助言、伴走支援に対する助言等を行い、支援チームの全体統括を担う。
【チームリーダー】 事業PD補佐・中小企業診断士 西井 克己 氏	<ul style="list-style-type: none"> 課題に応じた支援機関の巻き込みを行い、支援チームのリーダーとして意思決定に関する助言を行う。 支援全体の進行管理、浅野繊維工業が抱えている支援課題や支援ニーズを取り纏め適切な支援計画を検討。 支援の進捗に沿って支援課題の整理や見直しを行う。 必要に応じて専門家派遣の依頼をする。 経営デザインシート作成支援。
【チーム連携窓口、支援機関】 石川県産業創出支援機構（ISICO） 成長プロジェクト推進部部長 川畑 泰樹 氏 成長プロジェクト推進部産学官金連携支援 課コーディネーター 安井 治之 氏	【チーム連携窓口】 <ul style="list-style-type: none"> 支援企業と支援機関の連絡窓口として、調整役を担う。 事業PD補佐、支援機関や事務局と連携し事業終了後に引き継げる体制を構築する。 【支援機関】 <ul style="list-style-type: none"> 企業の抱える課題に対し、専門性をいかし、また、これまでの支援実績を踏まえ、適宜助言を行う。
【支援機関】 INPIT石川県知財総合支援窓口 支援担当者 山岡 佳代 氏 支援担当者 橋爪 慎哉 氏	<ul style="list-style-type: none"> INPITの支援サービスやネットワークを活用し、知財戦略策定、ブランディング、知財契約・法務等の具体的な知財支援を中小企業に提供する役割を担う。 オープン＆クローズ戦略に関する特許情報調査を担う。
【専門家】 弁護士法人クラフト 松田法律特許事務所 弁護士・中小企業診断士 村谷 淳 氏	<ul style="list-style-type: none"> 浅野繊維工業の共同研究に係る契約書ひな形作成において、レビュー及び助言を行う。

④株式会社小松プロセス 企業情報・技術紹介（光反射技術）

企業情報

住所：石川県能美市浜町又150-1

代表者：嵐 正晴

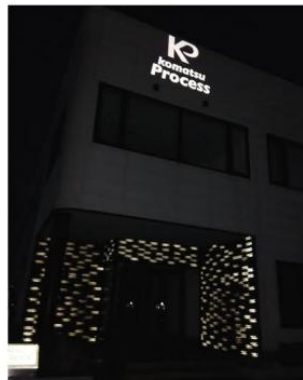
従業員数：19名

資本金：2,000万円

事業概要：再帰反射製品の製造・販売、再帰反射塗装受託加工、化成品製造販売

●技術紹介（光反射技術）

弊社の光反射技術は、あらゆる形状に反射機能を付与することができます。平面はもちろん、曲面や複雑な立体物にまで対応できます。光を反射する意匠性の高い衣服から、視認性の高い公共の道路資材まで、社会の様々な場面で使われています。



④株式会社小松プロセス

支援内容（経営デザインシート作成支援、マーケティングに関する支援）

【支援の概要】

企業の支援課題・ニーズ

- コロナ禍で感染防護服のニーズから業績を伸ばしたが、コロナ関連需要が落ち着いたことで、売上が減り始めていた。
- 再帰反射機能を付与する商材や技術を提供する反射事業の更なる事業拡大が必要であった。

令和7年度 支援概要

- 経営デザインシートを作成するための支援を実施
- 「IPランドスケープ支援事業」（INPIT本部）への申請を支援
- マーケティングに関する支援

【令和7年度の支援効果／今後の支援計画】

支援を受ける前

- 更なる事業拡大のためには、新しい市場やニーズの開拓が必要であることは理解していたが、その見付け方や、参入の根拠となるデータをどのように集めればよいか分からなかった。

令和7年度 伴走支援成果

- 経営デザインシートを完成させたことで、今後の事業構想や課題を可視化することができた。
- 特許情報に基づきターゲットとなり得る市場領域を整理したことで、販路について具体的に考えられるようになった。
- 「IPランドスケープ支援事業」の活用の助言、申請支援により、無事採択された。

今後想定される支援内容

- 「IPランドスケープ支援事業」の分析結果を踏まえた顧客の洗い出しを実施し、ターゲットの絞り込みを行い（リーナーキャンバスを作成予定）、営業候補先リストを作成する。
- 自社技術の棚卸を行い（具体的には、自社技術に関しては基材や用途に対する標準基材及びその基礎データを集め、共同開発に関しては顧客ごとにカスタマイズの分離を行う）、それを踏まえクローズ領域を特定する。
- 実際に営業リストの中から一社に対して標準サンプルからヒアリングまでの行動をシミュレーションし、営業計画に落とし込む。

④株式会社小松プロセス 支援関係者（支援企業・事業PD補佐・支援チーム）の声

企業の声（感想・得られた成果等）

株式会社小松プロセス 代表取締役社長 嵐 正晴 氏

弊社メンバーと支援チームの皆様とでじっくり議論を重ねることで、目的と方針の共有、そして弊社への理解という土台づくりができたと思います。最終目的は自社の事業拡大ですが、まずは結果の良し悪しは別として、最後までやり切れるプロジェクトにすべく、今後の活動に期待しています。

同 執行役員 田中 修次 氏

本事業を通じて経営デザインシートを作成し、技術面・営業面の課題を整理することができました。特に営業の標準化や技術の棚卸しの必要性に気付きました。今後の営業戦略につながるIPランドスケープ支援事業の申請にも御支援いただき、ありがとうございました。

同 製造技術部次長 石田 和也 氏

石川モデル事業を通じて、様々な機関の方の視点から当社の強みや課題を客観的に整理することができました。経営デザインシートの作成にお力添えを頂き、自社の目指す方向性や提供価値を改めて明確化でき、今後の営業戦略や開発方針の具体化につながる有意義な取組となりました。

事業PD補佐の声（感想・得られた成果等）

事業PD補佐・中小企業診断士 西井 克己 氏

小松プロセス様は知的財産を保有され、ノウハウを一部財産化することは身近な企業様です。そんな企業の支援に携わることができありがたく思っております。

支援チームの声（感想・得られた成果等）

石川県産業創出支援機構（ISICO）コンサルティング事業部経営支援課 課長 山岸 剛 氏

小松プロセス様は従来から高い技術力を活かしてニッチ戦略にて事業展開されてきましたが、今回、会社の中長期的なビジョンを明確化し、知財分析も活用することで戦略的に新市場を獲得するための技術開発や営業の取組方針が見いだせつつあります。次年度以降、実効性のある取組が推進できるよう継続してサポートしていきます。

石川県産業創出支援機構（ISICO）コンサルティング事業部経営支援課 主任 森川 将行 氏

小松プロセス様の本事業に対する意欲的なお取組姿勢に強い感銘を受けました。次年度以降も、今回の経営デザインシートで描いた「在りたい姿」の実現に向け、引き続きサポートさせていただければと思っております。

INPIT石川県知財総合支援窓口 支援担当者 橋爪 慎哉 氏

小松プロセスの皆様への意欲的な姿勢に深く感銘を受けました。本事業では、特許情報分析等を通じた多角的な視点の提示により、独自の強みを再発見・客観視する契機を提供できたことが大きな成果です。支援チームとしても、議論を通じて戦略の解像度を高める有益な知見を共有でき、確かな手応えを感じております。

経営デザインシートで課題整理
知財情報の活用で販路拡大を目指す



④株式会社小松プロセス 令和7年度 伴走支援体制

構成メンバー	伴走支援での役割
【統括】 事業PD・弁理士 下田 俊明 氏	<ul style="list-style-type: none"> 知財や企業支援に係る知見を踏まえ、支援計画の妥当性の確認、支援計画に対する助言、伴走支援に対する助言等を行い、支援チームの全体統括を担う。
【チームリーダー】 事業PD補佐・中小企業診断士 西井 克己 氏	<ul style="list-style-type: none"> 課題に応じた支援機関の巻き込みを行い、支援チームのリーダーとして意思決定に関する助言を行う。 支援全体の進行管理、小松プロセスが抱えている支援課題や支援ニーズを取り纏め適切な支援計画を検討。 支援の進捗に沿って支援課題の整理や見直しを行う。 必要に応じて専門家派遣の依頼をする。 経営デザインシート作成支援。
【チーム連携窓口、支援機関】 石川県産業創出支援機構（ISICO） コンサルティング事業部経営支援課 課長 山岸 剛 氏 主任 森川 将行 氏	【チーム連携窓口】 <ul style="list-style-type: none"> 支援企業と支援機関の連絡窓口として、調整役を担う。 事業PD補佐、支援機関や事務局と連携し事業終了後に引き継げる体制を構築する。 【支援機関】 <ul style="list-style-type: none"> 企業の抱える課題に対し、専門性をいかし、また、これまでの支援実績を踏まえ、適宜助言を行う。
【支援機関】 INPIT石川県知財総合支援窓口 支援担当者 橋爪 慎哉 氏	<ul style="list-style-type: none"> INPITの支援サービスやネットワークを活用し、知財戦略策定、ブランディング、知財契約・法務等の具体的な知財支援を中小企業に提供する役割を担う。 INPIT「IPランドスケープ支援事業」の申請サポート

⑤株式会社サカモト精機

企業情報・製品紹介（エアレーションタイン）

企業情報

住所：石川県能美市粟生町西2-7

代表者：坂本 孝一

従業員数：39名

資本金：1,000万円

事業概要：精機事業（繊維機械部品、自動車部品、油圧機器部品等）・グリーン事業（スポーツターフ及び緑地芝生管理部品）

●製品紹介（エアレーションタイン）

サカモト精機は「芝」と「機械」と「人」に優しいエアレーションタインの開発に取り組んでいます。耐久性に優れ、最後まで鋭い切れ味を保つサカモト製タインは、エアレーション時の芝生に与える負担を最小限に抑えられます。ゴルフ場や競技場などのスポーツフィールドから公園や校庭などの公共施設まで、あらゆる芝生をサポートしています。



サカモト製タインの特長

サカモト精機は「芝」と「機械」と「人」に優しいエアレーションタインの開発に取り組んでいます。

芝に優しい



耐久性に優れ、最後まで鋭い切れ味を保つサカモト製タインは、エアレーション時の芝生に与える負担を最小限に抑えられます。

機械に優しい



踏圧などにより固結した土壌に強い一方で、土壌内において石など異物に当たってしまった時の衝撃をエアレーターに対して最小限にする設計など、機能性と安全性を両立しています。

人に優しい



作業者にとっては、取り付けが容易で耐久性の高いタインにより、メンテナンスの手間とコスト削減を実現します。これにより芝生の健康な状態が保たれ、利用者にとっても快適な空間を提供します。

⑤株式会社サカモト精機

支援内容（事業計画（経営デザインシート）作成支援）

【支援の概要】

企業の支援課題・ニーズ

- 事業計画作成支援
- 販路開拓に係る支援

令和7年度 支援概要

- 事業計画作成支援
（経営デザインシートに補足資料を加えた形で作成）

【令和7年度の支援効果／今後の支援計画】

支援を受ける前

- 会社を将来どうしていきたいか、そのための進み方がはっきりしていなかった。

令和7年度 伴走支援成果

- 経営デザインシートの活用により、会社の強みや弱みを整理でき、対策を検討することができた。
- 事業部ごとのビジネスモデルを明確にすることで、外部環境の変化への対応策や必要な資源が明確となった。
- 経営デザインシートにおいて「将来構想のキャッチフレーズ」が決まり、目指すべき方向性やこれから何をすべきかが明らかになった。



今後想定される支援内容

- 特許情報分析を踏まえ、製品開発の方向性や知財戦略について検討を行う。
- グリーン事業（エアレーションタイン）に係る知財戦略支援、他社との差別化に向けたブランド構築の支援。

⑤株式会社サカモト精機

支援関係者（支援企業・事業PD補佐・支援チーム）の声

企業の声（感想・得られた成果等）

株式会社サカモト精機 取締役 坂本 知之 氏

会社を成長させるためには事業計画策定が急務と感じていましたが、どう作成すれば社員へ伝わるのか、また、実践できるようになるのかについて、経験が無く、なかなか踏み切れずにいました。今回の取組で1つの形を仕上げたことは大きな前進であり、新たな成長へとつなげていきたいと考えております。

同 経営企画アドバイザー 島本 伸之 氏

自社の強みをさらにストレッチして持てる知財に磨きをかけ、ブランド構築を図るといふまたとない機会を頂き、大変感謝です。経営デザインシートに描いた未来を実現するために変化への対応力を身につけて収益構造、従業員の待遇、職場環境、コミュニケーションの改善に尽力するトップを支えています。

事業PD補佐の声（感想・得られた成果等）

事業PD補佐・弁理士 宮田 誠心 氏

坂本取締役の周囲に人材が集まりつつあり、会社が良い方向に向かっているという勢いを感じております。

その勢いに乗って、技術をいかした自社製品について、知財を活用して、他社製品との差別化を進めていけると確信しております。

支援チームの声（感想・得られた成果等）

石川県産業創出支援機構（ISICO）コンサルティング事業部経営支援課 課長代理 池田 亨 氏

サカモト精機様の強みであるグリーン事業部における取組をいかした、次年度の事業拡大に向けたお取組が、非常に楽しみです。本モデル事業を通じて更に研究を重ねていただき、営業力強化を図って収益の向上を実現されることを期待しております。

石川県商工会連合会 経営支援課 課長 山森 敬史 氏

本事業では経営計画から採用まで多岐にわたる課題に対し、坂本様・島本様の熱意ある姿勢が印象的でした。終盤は、特許情報分析など、チーム支援ならではの多角的な議論ができて大変有意義でした。参画に感謝するとともに、経営デザインシートの内容具現化に向け、商工会として今後も支援を継続したいと考えています。

株式会社迅技術経営 中小企業診断士 小川 研介 氏

内外環境が大きく変化しようとしているタイミングで長期的な構想とビジョンの明文化に関わることができ、とても光栄でした。今後このビジョンを実現させるためには、坂本取締役に加えて社内外の関係者がチームとなり、思いと目線をそろえて進めることが大切です。経営デザインシートがその一助になることを願っております。



⑤株式会社サカモト精機 令和7年度 伴走支援体制

構成メンバー	伴走支援での役割
<p>【統括】 事業PD・弁理士 下田 俊明 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> 知財や企業支援に係る知見を踏まえ、支援計画の妥当性の確認、支援計画に対する助言、伴走支援に対する助言等を行い、支援チームの全体統括を担う。
<p>【チームリーダー】 事業PD補佐・弁理士 宮田 誠心 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> 課題に応じた支援機関の巻き込みを行い、支援チームのリーダーとして意思決定に関する助言を行う。 支援全体の進行管理、支援課題や支援ニーズを取り纏め適切な支援計画を検討。 支援の進捗に沿って支援課題の整理や見直しを行う。 必要に応じて専門家派遣の依頼をする。
<p>【チーム連携窓口、支援機関】 石川県産業創出支援機構（ISICO） コンサルティング事業部経営支援課 課長代理 池田 亨 氏 課長代理 坊谷 理恵 氏</p>	<p>【チーム連携窓口】</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援企業と支援機関の連絡窓口として、調整役を担う。 事業PD補佐、支援機関や事務局と連携し事業終了後に引き継げる体制を構築する。 <p>【支援機関】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業の抱える課題に対し、専門性をいかし、また、これまでの支援実績を踏まえ、適宜助言を行う。
<p>【支援機関】 石川県商工会連合会 経営支援課 課長 山森 敬史 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> 最も身近な支援機関として、企業の現状を深く掘り下げ、表面的な事象の奥にある真の課題を抽出し、適宜助言を行い、企業とともに解決と目標達成を目指す。
<p>【専門家】 株式会社迅技術経営 中小企業診断士 小川 研介 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> サカモト精機の現状課題・将来構想をヒアリングし、経営デザインシート作成支援を実施する。 経営デザインシートを活用しながら支援施策を構想し、支援計画の詳細化・精緻化を検討する。

⑥ 有限会社ジータ 企業情報・技術紹介（自在化技術）

企業情報

住所：石川県能美市佐野町八11番地1

代表者：水戸 一博

従業員数：7名

資本金：300万円

事業概要：受託開発サービス、機械設計サービス、水素関連機器設計製作及び販売

● 技術紹介（自在化技術）

自在化技術

電卓以上ロボット未満の省人化ソリューション群



ジザイベンダー

腕力に頼らず
モーターの力でアシスト

DCブラシレスモーターを採用し、
鋼管の曲げに必要な作業者の腕力の
不足分を補い、自在な曲げ加工を可能に。
現場の作業負担を軽減し、
安全でスムーズなハンドリングを
実現します。



省人省力化#1

GITA
有限会社 ジータ

ジザイリフター

電気を使わず
空気で持ち上げる。

エア・バルンサー機構を採用し、
圧縮空気力で最大50kgの
ワークを自在に操作可能。
現場の作業負担を軽減し、
安全でスムーズなハンドリングを
実現します。



省人省力化#2

GITA
有限会社 ジータ

⑥有限会社ジータ

支援内容（経営デザインシート作成支援、知財戦略構築支援、販路開拓支援）

【支援の概要】

企業の支援課題・ニーズ

- ❑ 特許の審査請求や展示会出展に先立ち、いつ、どのように特許や商標を出すか方針を定めたい。
- ❑ 少量多品種展開の製品に関する販路を開拓したい。

令和7年度 支援概要

- ❑ 経営デザインシート作成支援（事業内容・構想の整理・言語化）
- ❑ ジザイリフターに関する特許・商標出願戦略の検討

【令和7年度の支援効果／今後の支援計画】

支援を受ける前

- ❑ 多種の製品・サービスを有する一方、企業の在るべき姿や注力すべき方向性がやや不明瞭であった。
- ❑ ジザイリフターについて展示会等での引き合いはあったが、今後販売数拡大に当たって知財の取得方針が不明瞭であった。

令和7年度 伴走支援成果

- ❑ 経営デザインシートを活用し、事業の課題・構想を言語化し、専門家と意見交換する過程で、企業の在るべき姿やそれに向けて取り組むべき内容や方向性が明確になった。
- ❑ ジザイリフターについて、自社のコア技術や他社の先行特許・商標を踏まえ、今後の出願戦略が構築された。

今後想定される支援内容

- ❑ ジザイリフターに関連した、特許出願・商標登録出願に係る、より具体的な支援を行う（ジザイリフター-のどの機構について特許出願するか、どの名称・ロゴマークについて商標登録出願するかなど）。
- ❑ ジザイリフター-の販路拡大に当たってどの業界をターゲットとするかについて検討する。
- ❑ 上記ターゲットとなる業界への販路拡大を進める上であらかじめ取得すべき知的財産権について検討する。

⑥ 有限会社ジータ

支援関係者（支援企業・事業PD補佐・支援チーム）の声

企業の声（感想・得られた成果等）

有限会社ジータ 代表取締役 水戸 一博 氏

知財支援の下、経営デザインシートの作成に取り組むことで、自社ビジョンを十分に言語化できていなかったことを再認識するとともに、経営の方向性を検討するための手がかりを得ることができました。一方で、自社製品のブランディングについては、特許と商標を両面から戦略的に進めるという具体的な考え方や、知財を経営に結び付けて活用していく重要性を学ぶことができ、今後の事業展開に向けた大きな成果と感じています。

事業PD補佐の声（感想・得られた成果等）

事業PD補佐・弁理士 村田 健誠 氏

中小企業は、大企業と比べ、知的財産（特許権、商標権等）の取得に費用をかけられず、取りあえずの知的財産の取得は難しいところがあります。今回の支援では、経営デザインシートを利用することにより、目指す将来の企業像に有効な知財戦略（特許権・商標権の取得戦略）を立てられたと思います。

支援チームの声（感想・得られた成果等）

石川県よろず支援拠点 サブチーフコーディネーター 馬場 廣一 氏

当社製品に複数の業種から引合いがあり、現場での高いニーズを感じています。本事業で知財を活かした攻めと守りについて検討したことは今後大いに役立つと思います。

石川県産業創出支援機構（ISICO）成長プロジェクト推進部 産学官金連携支援課 コーディネーター 安井 治之 氏

ジータ様は、機械設計を主体としながら水素事業にも乗り出すなど積極的に活動されていますが、知財や今後の会社の経営方針などにやや課題がありました。今回の伴走支援でこの点が大きくクリアでき、これから芽が出てくる「ジザイシリーズ」の商標登録や特許等の権利化も実現しそうであり期待しています。

INPIT石川県知財総合支援窓口 支援担当者 原 正明 氏

限られた支援時間の中で支援チームの各メンバーのスキルをいかし、経営デザインシートの作成、特許・商標の戦略的な権利化への検討などの成果を達成できたのではないかと思います。



⑥有限会社ジータ 令和7年度 伴走支援体制

構成メンバー	伴走支援での役割
【統括】 事業PD・弁理士 下田 俊明 氏	<ul style="list-style-type: none"> 知財や企業支援に係る知見を踏まえ、支援計画の妥当性の確認、支援計画に対する助言、伴走支援に対する助言等を行い、支援チームの全体統括を担う。
【チームリーダー】 事業PD補佐・弁理士 村田 健誠 氏	<ul style="list-style-type: none"> 課題に応じた支援機関の巻き込みを行い、支援チームのリーダーとして意思決定に関する助言を行う。 支援全体の進行管理、支援課題や支援ニーズを取り纏め適切な支援計画を検討。 支援の進捗に沿って支援課題の整理や見直しを行う。 必要に応じて専門家派遣の依頼をする。
【チーム連携窓口、支援機関】 石川県産業創出支援機構（ISICO） 成長プロジェクト推進部産学官金連携支援 課コーディネーター 安井 治之 氏	【チーム連携窓口】 <ul style="list-style-type: none"> 支援企業と支援機関の連絡窓口として、調整役を担う。 事業PD補佐、支援機関や事務局と連携し事業終了後に引き継げる体制を構築する。 【支援機関】 <ul style="list-style-type: none"> 企業の抱える課題に対し、専門性をいかし、また、これまでの支援実績を踏まえ、適宜助言を行う。
【支援機関】 石川県工業試験場 電子情報部 部長 米沢 裕司 氏 電子情報部 研究員 新田 優樹 氏	<ul style="list-style-type: none"> 主に技術的な面から支援する
【支援機関】 石川県よろず支援拠点 サブチーフコーディネーター 馬場 廣一 氏	<ul style="list-style-type: none"> これまでの当社への支援実績を踏まえ適宜助言を行う
【支援機関】 INPIT石川県知財総合支援窓 口 支援担当者 原 正明 氏	<ul style="list-style-type: none"> INPITの支援サービスやネットワークを活用し、知財戦略策定、ブランディング、知財契約・法務等の具体的な知財支援を中小企業に提供する役割を担う。
【専門家】 弁護士法人クラフト 松田法律特許事務所 弁護士・弁理士 松田 光代 氏	<ul style="list-style-type: none"> 経営デザインシートの作成を支援する。

⑦北菱電興株式会社 企業情報・事業紹介（農業事業）

企業情報

住所：石川県金沢市古府3-12

代表者：小倉 一郎

従業員数：367名

資本金：1億円

事業概要：石川県内3か所でイチゴ圃場を有し、マイクロ水力発電によるクリーンエネルギーを活用した、イチゴ栽培事業を展開

●事業紹介（農業事業）

「電子・電機関連のシステム化」「エレクトロニクスの研究・開発」「建築設備設計・施工」事業において、培ってきた経験・実績を活用し、アグレッシブ・アグリ事業として「低ランニングコスト農業」で、農業振興に貢献しています。

イチゴ高設栽培

作業姿勢の改善による作業効率の向上を目的とした高設栽培を採用しました。

果実が土に触れず衛生的です。



マイクロバブル

灌水に30 μ m（マイクロメートル）以下の気泡を発生させ苗に供給しています。マイクロバブルは水に溶けやすく、水中に溶存している時間が長く、苗への酸素供給が増進します。



温度管理

空冷ヒートポンプ式パッケージによる冷暖房温度管理を実施しています。化石燃料を使用せずクリーンな資源を活用してランニングコストの低減を目指しています。



集中管理システム

遠隔管理・制御システムにより、ハウス内の温度、湿度等を一元管理しています。

タブレット等により遠方からでも常時、ハウス内の様子を観察し、各種設備を制御できる他、日々のデータを収集・記録することでコストの削減、品質の確保を目指しています。



⑦北菱電興株式会社

支援内容（経営デザインシート作成支援、イチゴ事業のブランド戦略策定）

【支援の概要】

企業の支援課題・ニーズ

- ❑ イチゴ事業の収益性を向上させ、事業継続性を確保したい。
- ❑ イチゴのブランド名が一般に浸透しておらず、プロモーションを検討したい。

令和7年度 支援概要

- ❑ 経営デザインシート作成支援（事業内容・構想の整理・言語化）
- ❑ イチゴ栽培技術に関する特許情報分析
- ❑ PR・売上拡大に向けた施策の提案

【令和7年度の支援効果／今後の支援計画】

支援を受ける前

- ❑ イチゴ事業の課題・構想を言語化しきれない部分があった。
- ❑ イチゴ事業の収益性向上・プロモーションに向けて、実効性のある施策を見出せずにいた。

令和7年度 伴走支援成果

- ❑ 経営デザインシートを活用し、事業の課題・構想を言語化し、専門家と意見交換する過程で、事業の現状を客観的に見直すことができ、事業理解の解像度が高まった。
- ❑ イチゴ事業の収益性向上・プロモーションに向けて、専門家から施策（新商品・新サービス開発、PRスポンサーとの提携、「暖簾分け」ビジネスの展開）を提案してもらい、今後の方向性を見出すことができた。

今後想定される支援内容

- ❑ ブランド発信につながるイチゴ加工品目を選定し、県内食品加工業者との連携の可能性を模索する。
- ❑ イチゴ事業のブランド発信に協力してくれる県内事業者を探索し、ブランド発信に必要な連携体制・スキームを検討する。
- ❑ 「暖簾分け」ビジネス（北菱電興のイチゴ栽培技術を他事業者へ展開し、自社のブランドの向上に寄与）の展開に向け、技術動向・競合プレイヤーに関する詳細な特許情報分析を進め、イチゴ栽培・管理技術のライセンス戦略策定を検討する。

⑦北菱電興株式会社

支援関係者（支援企業・事業PD補佐・支援チーム）の声

企業の声（感想・得られた成果等）

北菱電興株式会社 取締役 CLO 企画本部長 酒元 一幸 氏

平素から当社アグリ事業に対し、丁寧かつ親身な御支援を頂き深く感謝申し上げます。本事業を通じ、ブランディングを意識しつつも、それを収益にいかにつなげるかという事業視点が、まだ不十分であることを再認識できました。現場が「想いや意義」を考え、相互に作用しながら進めるプロセスを期待しています。

北菱電興株式会社 スマート・アグリ・システム開発室 室長 中寺 紳一 氏

弊社のイチゴ事業の在り方における課題の抽出において、幾度ものヒアリングを通じて、当方のイチゴ事業に対する考えや思いをうまく引き出していただいたことで、納得できる課題抽出ができたと感じています。今後も対面による「対話」を大切に、更なる当社の課題の絞込とそれに対する支援ニーズを理解、把握していただきつつ、課題解決策の抽出と実行フェーズへと移行できればと考えています。

事業PD補佐の声（感想・得られた成果等）

事業PD補佐・弁理士 横井 敏弘 氏

支援チーム全員で「いちごファームHakusan」を訪問することにより、多様な知的資産の蓄積を実感することができました。イチゴの品質の高さだけでなく、高度な栽培技術やマイクロ水力発電の活用、地域の大学生を巻き込んだブランディング等です。これらの要素の相乗効果で、より多くの方々を巻き込み、ライセンスという形で広がることを期待しております。

支援チームの声（感想・得られた成果等）

石川県商工会議所連合会（金沢商工会議所） 高田 成智 氏

弁理士、弁護士など専門家、行政機関、支援機関の得意分野、事業領域、特徴、人柄などを事業を通じて知ることができました。企業プロジェクトを展開する際の経営デザインシートの活用方法を学ぶことができました。

INPIT石川県知財総合支援窓口 池島 裕之 氏

とても美味しいイチゴだと感動しました。この感動をどのように伝えるのが、今回の最大のテーマと思い、支援をさせていただきました。いくつか御提案をしましたが、既に取り組みされていることがほとんどだったとのことでした。今後につながる提案も差し上げたつもりですが、これまでの取組を、今一度「売れるか、売れないか」、「良いか、悪いか」、「課題解決になっているか」という視点で見直していただくと今後のヒントが得られるように思いました。



⑦北菱電興株式会社 令和7年度 伴走支援体制 (1/2)

構成メンバー	伴走支援での役割
<p>【統括】 事業PD・弁理士 下田 俊明 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> 知財や企業支援に係る知見を踏まえ、支援計画の妥当性の確認、支援計画に対する助言、伴走支援に対する助言等を行い、支援チームの全体統括を担う。
<p>【チームリーダー】 事業PD補佐・弁理士 横井 敏弘 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> 課題に応じた支援機関の巻き込みを行い、支援チームのリーダーとして意思決定に関する助言を行う。 支援全体の進行管理、支援課題や支援ニーズを取り纏め適切な支援計画を検討。 支援の進捗に沿って支援課題の整理や見直しを行い、必要に応じて専門家派遣の依頼をする。
<p>【チーム連携窓口、支援機関】 石川県産業創出支援機構 (ISICO) 成長プロジェクト推進部 部長 川畑 泰樹 氏</p>	<p>【チーム連携窓口】</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援企業と支援機関の連絡窓口として、調整役を担う。 事業PD補佐、支援機関や事務局と連携し事業終了後に引き継げる体制を構築する。 <p>【支援機関】</p> <ul style="list-style-type: none"> 企業の抱える課題に対し、専門性をいかし、また、これまでの支援実績を踏まえ、適宜助言を行う。
<p>【支援機関】 石川県産業創出支援機構 (ISICO) 成長プロジェクト推進部 コーディネーター 三輪 章志 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> 農業事業専門家として、北菱電興のイチゴ栽培事業の発展・成長に向け、技術・経営面での助言を行う。

⑦北菱電興株式会社 令和7年度 伴走支援体制 (2/2)

構成メンバー	伴走支援での役割
<p>【支援機関】 INPIT石川県知財総合支援窓口 支援担当者 池島 裕之 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> INPITの支援サービスやネットワークを活用し、知財戦略策定、ブランディング、知財契約・法務等の具体的な知財支援を中小企業に提供する役割を担う。
<p>【支援機関】 石川県農林水産部ブランド戦略課 課長補佐 吉川 基世 氏、ほか</p>	<ul style="list-style-type: none"> 農業分野の知財専門家として北菱電興のイチゴ栽培事業の知財・種苗に関する専門的助言を行う。
<p>【支援機関】 石川県商工会議所連合会（金沢商工会議所 企業経営アシストセンター長） 高田 成智 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> 商工会議所の支援サービスやネットワークを活用し、事業分析・販路開拓・人材育成に関する経営支援を中小企業に提供する役割を担う。
<p>【専門家】 弁護士法人クラフト 松田法律特許事務所 弁護士・中小企業診断士 村谷 淳 氏</p>	<ul style="list-style-type: none"> 北菱電興の現状課題・将来構想をヒアリングし、経営デザインシート作成支援を実施する。 経営デザインシートを活用しながら支援施策を構想し、支援計画の詳細化・精緻化を検討する。